

第 17 回運営推進会議 議事録

令和 6 年 9 月 20 日

No.1

事業所名	デイサービスセンター「すみよし」
開催日時	令和 6 年 9 月 20 日 14:00~15:00
開催場所	デイサービスセンター「すみよし」併設施設サービス付高齢者向け住宅「グットハウスすみよし」食堂
参加者	利用者 1 名 知見を有する者 1 名 利用者家族 1 名 地域包括支援センター 1 名 地域住民の代表 1 名
議題	1 運営推進会議の目的 2 運営状況 3 主な活動 4 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対する取り組み 5 熱中症対策に対する取り組み 6 事故報告 7 BCP(事業継続計画)策定への準備の実施 8 職員会議での課題について 9 運営委員からの評価

会 議 録

1.運営推進会議の目的

地域に開かれたサービスや、介護保険サービスの質の確保を図ることを目的とし、半年に一度ご利用者様やそのご家族、地域住民の代表者などに、提供している介護サービスの内容をご説明いたします。出席者の皆様にはサービスの内容の報告に対してご意見を頂いたり、事業所に対するご要望や助言等忌憚のないご意見を頂戴したいと存じます。

2.運営状況

(1) 利用定員 午前・午後 各 13 名

1 日平均利用者人数 午前 7 名 午後 7 名 (8 月 31 日現在)

(2) 提供時間 3 時間 5 分 (午前 9:10~12:15 午後 13:10~16:15)

(半日型・機能訓練特化型・入浴、昼食対応可能)

(3) 利用者の状況 令和 6 年 8 月 31 日現在

利用者人数 42 名 (男性 20 名 女性 22 名) 利用休み中 2 名

事業対象者	要支援 1	要支援 2		平均介護度
0 名	0 名	0 名		2
要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
9 名	16 名	12 名	3 名	2 名

※今期はコロナ感染によるお休みや入院、その他受診または体調不良でのお休みや入院、利用中止が多く見られました。そのため、結果として利用回数が伸びませんでした。

今期も特に暑さが厳しく、体温や血圧が不安定となるご利用者様もいらっしゃいました。脱水症状や熱中症対策として水分補給や冷房使用の呼びかけを継続しています。

コロナが第5類の扱いになったとはいえ、コロナ感染は現在も増加しており、身近なところでの感染の報告を受けております。現在のところ、感染者は職員を含めすぐにお休みしていただいております、クラスターは発生しておりません。事業所としては基本的な感染対策を引き続き実践し、熱中症の対策に対する取り組みと共に安全な環境作りを継続していきます。

- (4) 加算 個別機能訓練加算ⅠⅠ又はⅡ 入浴介助加算Ⅰ（希望者のみ） 口腔機能向上加算Ⅰ（希望者のみ） 中重度者ケア体制強化加算 介護職員等処遇改善加算Ⅱ

3.主な活動

- ・機能訓練指導員による下肢を中心とした個別機能訓練、ご利用者様のレベルに合わせた脳トレの実施。
- ・口腔機能向上サービスの実施一月2回（コマキ歯科の医師、歯科衛生士の助言を受け、デイサービス看護師による指導）

※口腔機能向上に関する情報提供、口腔体操、嚥下体操、歯磨き支援などの口腔ケアの実施。半年に一度、口腔機能検査を実施し、口腔機能低下症から向上が見られたご利用者様は卒業となり、その後半年に一度の検査により維持がされているか確認を行います。今月の口腔機能検査では2名が卒業となりました。また、歯科の治療を必要とする方で、通院できない事情のある方はご希望により、歯科の往診治療に繋げることも可能なため、治療が受けられて良かったとの声も聞かれています。

- ・手指の機能訓練として、季節に合わせた展示物の作成
季節に合わせた桜、紫陽花などの貼り絵、塗り絵、工作など

- ・外出レク

感染防止を配慮しての外出レクリエーションの実施。

小瀬公園へ桜見物、武田二十四将騎馬行列見学、美術館薔薇の花見物、桜町商店街へ七夕飾り見物、武田神社へ蓮の花見物など

- ・日常のレク活動について

みんなで取り組めるゲームとしてトランプやかかるた取り、手作りカードによる神経衰弱、脳トレを兼ねたレク活動 ではホワイトボードを活用してクイズやなぞなぞ、とんち問題などを楽しんでいます。

また、最近では体を動かす風船バレーや玉入れ、ボール体操、タオル体操などを行っています。

- ・地域との交流

「子ども110番」の施設としての実施継続。

- ・城南中学校の職場体験1名の受け入れ（8月5日、8月9日）

- ・避難訓練

R6年9月18日15:00～ 震度6地震発生、その後火災発生を想定した訓練を実施。

4. 新型コロナウイルス感染症等の拡大防止に対する取り組み

- ・現在ではマスクの着用が緩和され、着用は個人の判断にて選択できるとされていますが、医療機関や高齢者施設においては重症化リスクが高い人の感染防止のため、着用を推奨するとの方針となっております。職員は引き続きマスク着用にて業務にあたっております。ご利用者様につきましても強制ではないものの引き続き着用していただくよう、説明やお願いをしております。
- ・ご利用者様にはお迎え時、デイに到着時に検温をさせていただきます。
(37.5℃以上)が見られた場合には来所を控えていただきます。
- ・職員もご利用者様同様、毎日2回の検温、発熱が認められた場合には出勤停止とします。
- ・手洗い、うがいを徹底します。
- ・定期的な部屋の換気(30分に1回または1時間ごとに時間を決めて5~10分)を行います。
- ・エアドッグ(空気清浄機)を導入しています。
- ・室内の消毒をします。
(椅子・テーブル・テーブルの淵・手すり・水回り・平行棒・ドアノブ他)
- ・送迎車の送迎前後の消毒をします。(ドア・ハンドル・手すり・シート等)
- ・職員は普段より栄養をしっかり摂り、十分な睡眠を心掛けます。
- ・必要に応じて抗原検査を実施します。

5. 熱中症対策に対する取り組み

- ・経口補水液やゼリーを常備し、バイタル測定により体温の上昇や血圧の上昇、体調不良など水分不足が疑われる場合にはすぐに水分補給を行い、体調確認を継続します。
- ・ご自宅でも定期的に水分摂取、適切に冷房を使用していただくよう声掛けを行っています。

6. 事故報告 なし

※事故やヒヤリハットが発生した際には、関係機関に報告を行うとともに、発生したその日のうちに職員間でミーティングによる原因対策の話し合いを行い、再発防止に努めています。

7. BCP(事業継続計画)策定への準備の実施

- ・2024年3月までに対応が義務化されていましたが、業務多忙なため完成が間に合わず、4月中に間に合わせる予定で進め、ようやく完成に至りました。今後感染症や災害が発生した際は、必要な介護サービスが継続的に提供できるよう、計画書に基づき、研修の実施、訓練等を実施していきます。

8. 職員会議での課題について

- ・感染症、虐待や身体拘束等についての勉強会や、日常での問題点など色々な課題について話し合いを行っています。その中で日頃より取り組んでいることは、ご利用者様への接し方や言葉遣いについての振り返りです。ご利用者様と親しい関係になり、失礼な言葉遣いになっていないか、上から目線での口調になっていないかなど会議で課題にすることで見直していくきっかけを作るようにしています。完全な状態ではありませんが、継続していくことで意識を高めていくことを目指しています。

9.委員からの評価

(ご利用者様)

お風呂に入れてもらっています。手際よく準備してくれて、スムーズで良いです。お風呂は楽しみです。

また、カラオケも歌わせてもらっています。昔はバンドを組んで歌っていましたし、歌うことは楽しいです。

(ご利用者様のご家族)

父は102歳になりますが、デイサービスに行くことに嫌がる様子もなく、準備をしてお迎えを待っています。喜んで通っているのだと思います。

こちらもお風呂は温泉ですか？→現在は温泉ではありません。(社長より)

外出レクは参加している人に制限はあるのですか？父のようにお風呂を希望して来ている場合は参加できないのですか？→外出レクは定期的に行っているものではなく、不定期で実施しているので全員が対象ではない状況です。できるだけ多くの方に参加していただきたいのですが、3時間の中で入浴や機能訓練、レクリエーションなどを行うので時間が取れる時に外出をしています。事前に決まっている時はお知らせします。

(社長、管理者より)

(地域住民の代表)

地域住民の中には高齢化が進んでおり、一人住まいの高齢者も多いのですが関わり方がわからないこともあり、なかなか相談に繋がりません。自治会を脱退したり入らない方が増えていて、そういう方が高齢化していくと対応が難しい状況にあります。自治会には地域の住民の名簿があり、いざというときに介助が必要な方などを一人一人を把握しています。災害時では各組長さんが避難所に避難誘導を行うことになっています。各々リストを持っていますが共有していないのが現状です。

(管理者より) この地域の災害時の避難場所は南高校になっていますが、水害時の避難所はどこになりますか？

→やはり水害時の避難所も南高校ですが、リサイクルセンターも避難できます。状況に応じて垂直避難をしていただくことをお勧めします。(地域住民の代表より)

(知見を有する者)

すみよしさんにはご利用者様を二人お願いしていますが、満足していただいています。今までコロナ禍でデイサービスの見学もなかなかできていなかったので今回推進会議に参加させていただいて取り組みの内容がわかり、こんなにやっていたらいいんだとわかりました。このような機会をいただいて良かったです。今回事故報告はなかったということですがヒヤリハットの報告は小さいことでも報告して、多くあった方がよいと思います。その方が皆で注意していけると思います。

(包括支援センター)

自治会長さんより独居の方を心配されているというご意見がありましたが、相談機能は持っているのでしょうか？災害時に独居の方をどのように避難させるのか、地域との連携、取り組みが重要となります。

地域での各問題は包括支援センターに相談していただくこともできますので活用してください。

グット케어さんとしては地域との関わりはどのようにお考えなのか教えてください。

(社長) ヘルパーサービスでは自然災害時にはそれぞれの方に連絡を取るようにし、各々の避難所に逃げるように伝えます。独居の方に電話をかけ、電話に出ない人を訪問することもあると思います。また、グット케어には10人のケアマネジャーがいますので、高齢者の方の困りごとについて相談してもらうこともできます。

(包括支援センター)

自治会長さんは包括支援センター、グット케어に相談してほしいと思います。

次回 運営推進会議開催時期 令和7年3月頃予定